喜寿に逆修学旅行、柏崎へ

柏高八回卒・高弥会　**青木　聰**

喜寿の会を前倒しで二年前、柏崎東の輪で四九名の参加で開いたのに、やはり集まろうや、と、在柏諸氏の骨折りで、五七名の参加で五月二〇、二一日の両日で行われた。

参加者は市内一七名、県内六名、首都圏二六名、その他北海道から大阪までで八名。

初日は岬ひとひらで、柏崎民謡保存会の米山甚句、三階節などの踊りと歌を鑑賞、物故者に黙祷を捧げて、開宴の運びとなった。当初申込みでは六二名だったのに、本人、家族の不都合で、止むなく欠席となったのは残念。この年齢となっては他人事でないと感じ入る。卒業以来の顔もあって、「オメさん、誰でぇ？」次の瞬間、肩を叩きあって大笑い。なんとか参加できたことをお互い喜びながら、杯を重ねて一刻、新名物・鯛茶漬けで中締め。駅前までバスで戻って、一旦解散。分宿のホテルに入らずそのまま二次会に行く者十数名。翌日の行事に来なかった者一名で、年の割には好成績。飲み過ぎず？体調管理もまずまずか。

翌日が目玉の逆修学旅行。九時過ぎに駅前を柏タクの貸切バスで出発。まずドナルド・キーン・センター柏崎、開館を三十分早めて、理事の吉田さんから直接の説明を受け感銘ひとしお。かのペルーは日本の開国者、近代文学の開国者はD・キーン氏！　越後柏崎と明記された古浄瑠璃原本を発見し、何百年来の再演にも貢献。

続いて高柳貞観園へ。こちらは二週間早めての臨時開園。改修後の立派な手入れの行き届いた館内と小雨に濡れて緑したたる庭園を見せて頂く。じょんのび村でじょんのび弁当。季節の山菜ふんだんに、二日酔いの胃にも優しい。

あいにくの雨模様で米山、黒姫山の山容は拝めないが、新緑は更に鮮やかに、環状集落・荻野ノ島では、田植えの後の安らぎを想う。美しいが苦労が偲ばれる棚田を見つつ、地蔵峠に纏わる悲話の説明を受け、旧石黒村を経て鵜川・綾子舞会館。こちらも臨時開館して頂き、講義を受けて、貴重な文化遺産の価値を再認識。柏崎の誇り、一段と醸す思い。

鯖石川を遡り、黒姫山を廻り、鵜川を下って、新道の飯塚邸。天皇を二代続けて御留めして、明治天皇行幸の折にも供した卓など、何故か天皇家に縁のあるザイゴのお屋敷。ナンジャモンジャの白い樹花が出迎え、見送りをしてくれ、此イベントを象徴する風景になった。

慌ただしくも、懇切な説明を受け、もう一度来なくては、の思いしきり。「柏崎再発見！」「デスカバー・ザイゴ」でした。

修学旅行には、ちょっと歳をとり過ぎましたが、柏崎在住の諸氏の骨折りで、良い土産話ができました。厚く御礼、申し上げます。達者でいる限り、また会いましょう。

喜寿を祝う高弥会の集い

柏崎郷土物語（10）

岩下　正雄（高16）

柏崎・刈羽の江戸時代（1）

柏崎にも藩があった　椎谷藩と藤井藩

元和二年（一六一六）、堀直之は大阪の陣の戦功により、刈羽郡椎谷五千五百石を幕府から賜りました。後に上総国にも領地を得て一万石となり、大名に列します。藩祖直之は、大坂夏の陣で、後藤又兵衛を追いちらし、薄田（すすきだ）兼相を討ち取り名をあげました。寺社奉行をつとめました。以来十六代続き明治になり版籍奉還となりました。徳川直参で参勤交代のない江戸定府の大名です。

領地は妙法寺、大崎等の西山地域、三島郡蒲原郡の一部でした。一一代著朝（あきとも）の時、藩の圧政に対して、天明義民事件（一七八七年）がおこりました。三郡三十五ヵ村の惣代、九ヵ村の庄屋が、寺社奉行に越訴しますが、以後四年にわたる裁判のなか、病死、島流し、獄門と厳しい裁定が下されます。最後に有名な評定所目安箱に訴状を投じました。藩主は隠居、越後領の半分は信州荒地と領地替えと、農民の勝訴におわりました。これを裁いたのは、皮肉にも隣の柏崎の領主でもあった松平定信でした。この時定信は白河藩主でした。

「もう一つの藩」藤井藩

椎谷藩の成立と同じ、元和二年、稲垣重綱は上野国伊勢崎から、刈羽郡藤井二万石に転封となりました。藤井は鯖石川中流域の平野部で、稲垣氏はここに城郭と城下町の建設を始めましたが、その完成をみないうちに、同六年蒲原郡三条城に移封されました。北条の各社に稲垣氏からの寄進の事実があることから、北条村もこの藩の領地であったことが、わかります。他には畔屋、与三、矢田、吉井の各村、上条郷、別俣郷、鯖石郷、等があげられています。

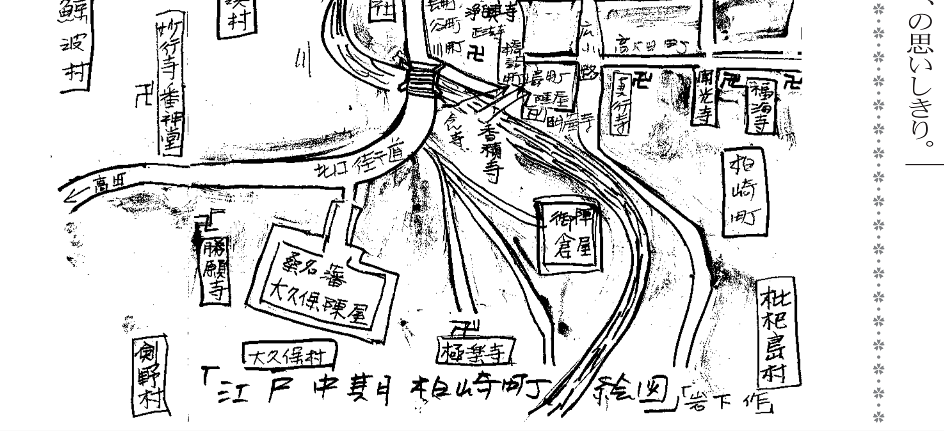
柏崎の陣屋のうつりかわり

陣屋といえば私達は大久保陣屋を思いうかべますが、この白河、桑名藩陣屋以前に、柏崎（高田藩領）を領した大名の陣屋がありました。高田藩が柏崎町に代官をおいた始めは、家康の六男松平忠輝ですが、この陣屋の所在地は不明です。

次の高田領主松平光長時代の陣屋は橋場にありました。当時の道は、大久保の高台を下り、水道橋附近で鵜川を渡り、橋詰町、橋場町、大町へと通じていました。今の喬柏園前の小路がメインストリートでした。この陣屋は喬柏園から西本町消防署あたりの砂丘の上につくられたといわれています。

高田藩が断絶し、頸城、魚沼、三島、刈羽の四郡が天領となった時の陣屋も前述の橋場におかれています。

以後稲葉氏が元禄七年に高田入府し、橋場陣屋改め扇町陣屋となり、次の戸田氏は香積寺門前の嶋町に陣屋をかまえ、松平越中守の時代に前の扇町から、大久保の高台にうつりました。桑名から高田に移封になった松平氏は、その後奥州白河さらに桑名へとうつりますが、柏崎町及び魚沼、刈羽等を飛領地として統治をつづけました。本藩の石高より多い七、八万石でした。最近、最後まで残っていた陣屋の長屋がとりこわされました。



部活で燃えろ　進路で輝け
新潟産業大学附属高等学校
校長・理事　小野敏夫（高16）
柏崎市安田二五一〇―二

本間内科医院
本間　保（高21）
柏崎市北半田一―一―四八
TEL（二一）三六六六

石高建設株式会社
代表取締役社長　土肥克知（高20）
柏崎市三和町三番三七号

東京柏会副会長
辯護士　今井健子（高13）
〒116-0013　東京都荒川区西日暮里二丁目二五番一―804号
ステーションガーデンタワー
TEL　〇三―三八九一―七五一五
FAX　〇三―三八九一―五三三三

矯正歯科・歯科・小児歯科
きたざわ歯科
かみあわせ研究所
北澤智昭（高23）
柏崎市幸町一―七・TEL(22)六二三一

小形商工株式会社
代表取締役社長　小形明彦（高16）
新潟市東区浜谷町二丁目三番六七号
TEL　〇二五（二七四）三三五六

株式会社　**阿部建設**
取締役会長　阿部弘一（高7）
代表取締役　阿部尚義（高35）
〒945-0047　柏崎市比角一―三―二六
TEL（〇二五七）二三―四一七三
FAX（〇二五七）二三―七六八四

㈱会田写真館
スタッフ一同
柏崎市扇町一―一―一八
TEL　二三―六二四八

株式会社　**植木組**
取締役会長　植木康之（高15）
取締役社長　植木義明（高23）
新潟県柏崎市新橋二番八号

割烹　みずち
水地　学（高41）
柏崎市柳橋町二―一四
TEL（〇二五七）二三―二四五五
FAX（〇二五七）二二―一九二一

高十六回（十六夜会）卒業五十周年記念同期会

平成二十七年九月六日、七日の二日間、柏崎高校第十六回卒（十六夜会）の卒業五十周年記念同期会が、新潟の奥座敷岩室温泉ホテル大橋で行われました。迎えのバスで柏崎から十七名、新幹線の燕三条駅からバスで十一名、マイカーで宿に直行する七名、合わせて三十五名が集まりました。

夕方五時に記念写真を撮ったあと、馬場礎君の司会で開会、まず二十七名の物故者への黙祷のあと土田新吾会長から挨拶があり、「十六夜会」の由来は故矢島昱生君の発案によるもので「高十六回」と「いざ酔（よ）い」をかけたものとあらためて披露されました。続いて岩下正雄君の発声により乾杯、その後、参加者全員がひとり三十秒間のスピーチを行いました。（近況報告がついつい長くなり殆どの方が時間オーバーしてしまいましたが。）懇談に移っても、久しぶりの再会（中には卒業以来の方も数名おられました）に話が弾み、三時間の飲み放題があっという間に経過し、根立正史君のリードによる校歌斉唱を七番まで歌いきり、最後は品田優君の三本締めでお開きとなりました。

引き続き中村勝彦君の誘導で、ホテル内のクラブで二次会となりましたが、全員が出席したため、会場はほぼ貸し切り状態で、すっかり盛り上がり、二時間の歌い放題、飲み放題も瞬く間に経過し、最後は恒例の「高校三年生」の大合唱で締めくくりました。その後は各部屋に戻りましたが、幹事部屋は三次会の会場となり元気のある男性陣が集結、十二時過ぎまで積もる話に花を咲かせていました。女性陣も各部屋で同様だったとか。

翌日は、それぞれの用で先に発つ方を送り、希望者二十六名によるミニ観光を行いました。はじめに弥彦神社に参拝したあと、スカイラインで弥彦山山頂付近の展望台を経由し、角田浜のカーブドッチワイナリーでワイン付きランチを堪能したあと、寺泊「お魚市場」経由で柏崎に戻りました。

今回も、卒業アルバムからコピーした顔写真のついた名札を用意しました。年齢の経過や、クラスの違いで、顔と名前の一致しない方も多くおられたようですが、高校時代の話題には、それぞれの思いを重ねたり、あれから五十年の今では、在校当時の気恥ずかしさからは想像出来ない饒舌なおしゃべりが出たりして、盛り上がりっぱなしの二日間でした。

今回は残念ながらご参加いただけなかった皆さんも、次回ご案内の折には（いつになるかわかりませんが）ぜひお出かけ下さい。（村田孝夫　記）

高15回卒
古希記念同期会ご案内

■と　き：平成27年6月14日（日）
受　付：15：00～
同期会：16：00～20：00

■ところ：柏崎市産業文化会館・大ホール
（駅前２丁目２番45号／tel.0257-24-7633）

■会　費：7,000円

※なお、ご要望・ご不明な点などございましたら、幹事長三井田寧にご一報ください。

がんばれ！同窓生⑧

水泳指導にかけた青年海外協力隊時代

新潟産業大学副学長
広川俊男さん
高20回卒

新潟産業大学正面で広川俊男副学長

水泳一筋と思われがちだが柏高時代は柔道部。中学では陸上競技部だった。水泳をはじめたのは東京教育大学体育学部入学当時から。大学卒業後の1974年から6年間にわたり青年海外協力隊のスポーツ（水泳）隊員として中米・コスタリカで過ごした。当時は行き先を選ぶことはできず、あてがいぶちでコスタリカ行きが決まり、スペイン語との格闘が始まった。コスタリカ初代の協力隊員だった。

直前のグアテマラで語学の特訓を受けたが、当時、カンフー映画の影響を受けた現地の子どもたちに手荒い歓迎も受けた。コスタリカの空港に降り立ったときの真っ青な空。出迎えてくれた人たちから話しかけられたスペイン語が少しわかり、街に向かう車窓から初めてみる植物やたくさんの花々。それぞれがコスタリカが好きになっていく瞬間の連続だった。

コスタリカという国名は「豊かな海岸」を意味する。パナマの北に位置。面積は九州と四国を足したくらい。人口は180万人。15歳になると大人の仲間入り。特別な誕生日を行う。早熟な国で15歳前から実におしゃれ。コレヒオ（日本でいう中・高校に相当）の女生徒はほとんどがアイシャドーを付けている。男女の仲もおおらかで開放的だった。

大人の世界ではパーティーが頻繁に開かれていた。友人の友人も参加OK。ラム酒にコカコーラを混ぜた「ロンコンコカ」に酔いしれた。ラテンの国で夜のスタートは遅かった。

最初は下宿生活。インゲン豆の汁「フリフォーレス」にパン、牛乳、目玉焼きが朝食。味には文句はなかった。

海に囲まれたコスタリカだが、海にはサメがいて危険。プールは富裕層向けに一都市に会員制のプール一つくらいしかなかった。首都サンホセでコスタリカ大学とナショナル大学で体育の教員を目指す学生たちを対象とした「水泳」の授業を担当。泳法と指導法を講義した。コスタリカ赤十字の要請で水難救助法の講習会の講師も務めた。半年ほどしてコスタリカ水泳連盟からの要請でナショナルチームの選手強化にも参加。その後、ナショナルチームの監督やアドバイザーも務めた。教え子たちはオリンピックに出場を果たしたり、隣国・グアテマラ共和国のナショナルチーム監督として活躍している。後半は教育省と協力、学校教育の中に水泳授業を取り入れるプロジェクト事業を展開。プールが少ないため、川をせき止めて簡易なプールを作ったり。コスタリカで水泳の創世記を一から作り上げる活動に参加できたのは、その後の人生にとって大きな収穫だった。

帰国後は神奈川県の民間スポーツクラブに6年半勤務。1988年、新潟産業大学にUターン。2007年に学長、2013年、北原保雄学長を迎え、現在副学長（学校法人柏専学院理事長兼務）。

最後に直近の話題。昨年11月、産大は柏崎市に対して「公立大学法人化」の要望書を提出した。「消滅可能性都市」のリストに載せられた柏崎市を地方創生モデル都市にするためにも、優秀な若者をとどめ、呼び寄せる策が必要。産大を公立大学化し、地域を支え地域を起こす人材育成と仕組み作りに地域を挙げて取り組むことが大学に課せられた責務。教授陣も充実。水球や卓球、サッカーなどスポーツでも優秀な若者が集まってきている。近い将来、どのようなまちにしていくべきか、地域全体を考えていく中で大学の役割を一緒に考えてみてほしい。

（文責　山田明彦）

コスタリカに水泳育てる
En Dominic
Tiempo por
Toshio Irokawa
Somos p
pero av
青年海外協力隊員当時の関連新聞記事

日本メッキ工業株式会社
取締役社長　関矢浩章（高23）
柏崎市田塚三―二―六二
TEL　二二―二一七三

原酒造㈱
原　吉隆（高28）
柏崎市新橋五―十二

辯護士　髙橋　巽（高15）
事務所　〒951-8141　新潟市関新二丁目一番七三号
新潟ダイカンプラザ遊学館三〇七号
TEL　〇二五―二三三―七七〇〇
FAX　〇二五―二三三―七七〇〇

新潟産業大学
学長　北原保雄（高7）
副学長　広川俊男（高20）
事務局長　金子和裕（高26）
〒945-1393　柏崎市軽井川4730

新沢歯科医院
新澤秀樹（高22）
柏崎市穂波町二番二号

柏崎日報社
代表取締役会長　山田明彦（高18）

郷土のたより
越後タイムス
編集発行人　柴野毅実（高22）
TEL㉓六二九六　FAX㉓六二九五

佐藤塗料株式会社
代表取締役社長　佐藤裕幸（高20）
代表取締役会長　佐藤信義（中39）
柏崎市駅前二丁目一番四三号

辯護士　髙野　毅（高30）
事務所　〒940-0084　長岡市幸町一丁目三番一〇号
高野・星野法律事務所
TEL　〇二五八―三五―四四四四
FAX　〇二五八―三五―四四七八

㈱ライブ商事　新車中古車　販売・整備
代表取締役　品田　優（高16）
柏崎市小金町十一番六七号